

活動報告 第17回 CPD 講座 プレフラ・セミナー

1. 日時：2019年3月1日（金）18:30~20:00 CPD1.5時間
2. 場所：神戸市勤労会館 4F 講習室 405
3. 参加人数：19名
4. 講演テーマ：

「兵庫県の社会基盤整備について」

5. 講師：八木下 徹 課長

兵庫県 県土整備部 県土企画局 技術企画課

主な業務分野：

社会基盤整備の政策形成、整備プログラム策定、公共工事の
 規程・基準整備、品質確保



写真1 講師：八木下 徹 課長

6. 講演内容

昨年 1/26 に開催し、好調を博したことから、今年も、兵庫県庁の職員をお招きし、県のインフラ整備施策をお聞きする講演会を開催しました。

昨年は、6月に大阪北部地震、7月に西日本豪雨、8月～9月にかけて、台風20号、21号、24号の上陸や接近による自然災害が多くあったことから、防災・減災への取組みを含めてお話しいただきました。

講師の八木下課長は、1985年(昭和60年)に入庁され、河川整備や治水に関する業務に多く携われ、2018年(平成30年4月)から現職に就任されました。

◆ はじめに

冒頭、兵庫県の社会基盤整備の進め方について、お話がありました。

県では、2013年度に策定した「ひょうご社会基盤整備基本計画」及び「各種分野別計画」を踏まえ、10県民局毎に「社会基盤整備プログラム」を策定して社会基盤整備をすすめているとのこと。現在のプログラム(2014～23年度)の中間地点である5年を経過したことから、地域の課題やニーズを的確に捉え、安全・安心で豊かさが実感できる県土づくりを効率的・効果的に進めるため、見直しを行っており、近々に2019～28年度のプログラムを発表(3/12に発表)するとのことでした。

◆ 「ひょうご社会基盤整備基本計画」「社会基盤整備プログラム」に基づく県土整備の取り組み概要

「ひょうご社会基盤整備基本計画」は2014年(平成26年)3月に策定され、

- ・備える：自然災害に備える防災・減災対策の強化
- ・支える：日常生活や地域を支える社会基盤の充実
- ・つなぐ：次世代につなぐ社会基盤の形成

の3本柱から構成されています。

これを踏まえた「社会基盤整備プログラム」に基づき、県土整備が進められています。

「備える」では、南海トラフ地震による津波対策などが計画され整備が推進されており、これに加

えて「日本海津波防災インフラ整備計画」を策定中です。

「支える」では、道路の整備が中心になりますが、渋滞の緩和のための右折レーン新設や、鉄道と道路の立体交差化などに加え、歩行者・自転車の安全対策「歩行者・自転車分離大作戦」が進められています。これは、カラー舗装などにより、歩道と自転車道を分離するという内容で、これまでに10年間で400kmを整備してきたが、新たな5ヶ年計画を策定するというものです。

「つなぐ」では、高速道路等の高規格幹線道路が途切れている「ミッシングリンク」の解消や、姫路港や神戸空港・コウノトリ但馬空港の有効活用に取り組まれています。

そして、これら3本柱を効果的に推進する方策の紹介がありました。なかでも、社会基盤整備を支える「建設人材」の確保・育成に関しては、県庁としても積極的な取り組みを行っており、働き方改革を促進するための工事の余裕期間制度や週休二日モデル工事導入の解説がありました。



写真2 講演模様

◆ 整備事業の効果事例

これまでの整備事業が、実際にどのような効果を発揮したのかを、昨年7月の西日本豪雨を例に解説が行われました。

この豪雨は、梅雨前線が停滞し、7/3～7/8まで降雨が継続し、この6日間で、県下全域で200mm以上、約半分の地域で400mm以上の累加雨量が観測されました。また、平成時代に発生した過去3回の豪雨災害時と比較し、最大時間雨量は60mm/hで同程度、しかし、10mm/h前後の降雨が複数日にわたり継続したことが特徴です。

では、このような過去に例のない大雨に見舞われたなか、事業の効果はどうであったかという点、

- ・背割堤の効果：2004年(平成16年)10月の台風23号による加古川背水による浸水被害対策工事である加古川・柏原川背割堤により、氷上町で2004年以降の最大雨量を観測したが、高谷川の水位を約1.5m低下させ、浸水被害を発生させなかった
- ・河川堆積土砂撤去の効果：2017年(平成29年)11月～翌年5月の期間で県下120河川161箇所堆積土砂撤去を実施し、武庫川(道場水位観測所)において、水位を約1.0m低下させた。
- ・下水道事業の効果：篠山市では、2004年(平成16年)10月、2013年(平成25年)9月に浸水被害に見舞われたが、豪雨直前に完成した雨水ポンプ場により浸水被害を防止できた。

紙面の都合で、解説された多くの事例の一部しか紹介できないが、着実に効果を発揮していることが分かった。

(参考)

「兵庫県CGハザードマップ」

<http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/>



(文責:西村 直泰)

(にしむら なおやす、電気電子、ltng@nacs.ne.jp)